

簡易郵便局を訪ねて 94

熊本地震からの復興、温もりある局を目指して

高木簡易郵便局（熊本県御船町）



局長
森島 澄江

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は、一九六九年五月に御船町役場からの業務委託として義父が開局しました。その後、一九七四年に義父の後を継いで私が局長となり、個人受託としてスタートさせました。

当局は御船町の東部に位置し、車で五分ほどの所に宮崎県延岡市につながる予定の九州中央自動車道・小池高山インターができており、その近くには「サントリー熊本工場」があります。また、西に行くと九州自動車道の御船インターがあり、二〇二一年四月にはこの近くに「コストコ」がオープンし、県内外からの買い物客で連日賑わいをみせています。

このように活気を取り戻しつつある御船町ですが、今から六年前



高木簡易郵便局外観

の熊本地震では町全体が大きな被害を受けました。当局もこの地震により局舎が全壊し閉局を余儀なくされました。倒壊した局舎の前に「これからどうしたらいいのだろう」と途方に暮れる日々でしたが、同じように被災された地域住民の方々からの「簡易局がなくな

ったら困る」といった当局の再開を望む声に奮起し、九州支社の方々と近隣のエリア局、簡易局の方々からのお力添えもいただき、その年の十二月に無事開局することができました。

そして今年の五月には思いがけない事が起こりました。本社の増田社長が当局に来局されたのです。目的は九州支社へのご出張の帰りに当局へ立ち寄り、熊

本地震からの復旧について話をお聞きになりたいということでした。社長が簡易局を来訪されるのは初めての事ではないかということで、どう接したらいいのが大変悩みました。

当日は十六時頃に来局され、十分程度の短時間での立ち話となりました。地震当時の写真を見ながら、この時の様子や復旧までの経緯などの話を傾けてくださいました。「大変だったですね、こうして再開していただいたことに感謝します。今後ぜひ頑張ってください」という温かい励ましのお言葉をかけてくださいました。十分間という短い時間ではありましたが、増田社長に直にお会いでき、お話をさせていただいたことは



増田社長の来局（前列向かって左が本人）

今後の励みとなり、かけがえのない貴重な時間となりました。

震災当時ご協力いただいた方々への感謝を忘れず、そして当局を必要とすべくくださる地域住民の方々のため、今後も誠実に温もりある局づくりを目指していきたいと思えます。

住所 千1-202 熊本県上益城郡御船町高木三四五六

